

CSDB

Chugoku-Shikoku Defense Bureau

中国四国防衛局広報誌

日米交流事業

「SUO-OSHIMA日米こどもサッカー」



中国四国防衛局

Vol. 66

Dec. 2024



Vol. 66
Dec. 2024

編集・発行
中国四国防衛局
(広報委員会編集)

〒730-0012
広島県広島市中区
上八丁堀6-30

Tel
082-223-7109

中国四国防衛局HP



編集後記
これからも中国四国防衛局の
情報をお届けします！

目次 Contents

- 2 日米交流事業「日米こどもサッカー」(山口県周防大島町)
- 4 中国四国防衛局による広報活動(自衛隊記念行事)
- 5 令和7年度採用予定者内定式
令和6年度中国四国防衛局永年勤続者表彰
- 6 令和6年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式
- 7 岩国基地における機種更新等について
- 8 空母ジョージ・ワシントン洋上視察
輸送艦「にほんばれ」命名式・進水式
- 9 令和6年度防災応急対処訓練
- 10 防衛施設の紹介(陸上自衛隊高知駐屯地)
- 11 中国四国防衛局業務紹介(高松防衛事務所)
中国四国防衛局職員日記(高松防衛事務所)

中国四国防衛局 広報チーム
【X(旧Twitter)】
@chushiDB_koho



表紙について
令和6年11月16日(土)
令和6年度日米交流事業
「SUO-OSHIMA日米こどもサッカー」



— 令和6年度日米交流事業 —
SUO-OSHIMA日米こどもサッカー
令和6年11月16日(土)





日米交流事業「日米こどもサッカー」（山口県周防大島町）

令和6年11月16日、山口県大島郡周防大島町にある周防大島町陸上競技場において、当局主催による日米交流事業「SUO-OSHIMA日米こどもサッカー」を、周防大島町、米海兵隊岩国航空基地の共催、岩国市の後援で開催しました。

当日は天候に恵まれ、周防大島町、岩国市、米海兵隊岩国航空基地のサッカーチームなどに所属する児童及びコーチ約60名が参加しました。



中国四国防衛局長
田實 博幸



米海兵隊岩国航空基地
司令部司令中隊 司令官
フェデリコ・メンディザバル中佐



周防大島町長
藤本 浄孝



岩国教育委員会 教育長
守山 敏晴

参加者はくじ引きで5つの日米混合チームに分かれ、練習を行った後、5チーム総当たりの試合を行いました。子供たちは日米の垣根を越えてサッカーを楽しみました。



参加した子供たちからは「楽しかった」、「また参加したい」といった感想が寄せられ、大変、盛り上がりました。

中国四国防衛局では、今後も地域の皆様の協力を得て、在日米軍との相互理解を深めるための交流施策を実施してまいります。



中国四国防衛局による広報活動（自衛隊記念行事）

中国四国防衛局では、防衛政策や自衛隊の活動をより広く国民の皆様に紹介するため、当局管内の基地・駐屯地の記念行事等において、広報ブースを設置しています。

広報ブースでは、防衛三文書ダイジェスト版、広報誌等を来場された方々に配布しています。今後とも、広報ブースを設置してまいりますので、ご来場の際にはお気軽にお立ち寄りください。



広報ブースで
配布している
パンフレットの一例



陸上自衛隊 高知駐屯地創立58周年記念行事
（9月21日）での広報ブースの様子



海上自衛隊 徳島航空基地祭（11月2日）
での広報ブースの様子



次回の広報ブースでは、オリジナルポストカードを配布予定です！
どんなポストカードかはお楽しみに！

次回の広報ブースの出展情報は、X（エックス）にてお知らせします。

中国四国防衛局 広報チーム
X（旧Twitter）はこちら→



陸上自衛隊 日本原駐屯地創設59周年記念行事
（11月3日）での広報ブースの様子



令和7年度採用予定者 内定式

10月1日(火)に令和7年度採用予定者の内定式を執り行いました。
参加した内定者の皆さんには緊張の中にも意欲的な姿勢が見られ、当局の未来を担う仲間としての大きな期待を感じました。

内定式では、中国四国防衛局長からの手紙を総務部長が代読し、今後の成長を後押しする温かい言葉が贈られました。
式典後は若手先輩職員との懇談会を実施し、緊張もほぐれ笑顔があふれる場面も見られました。

来春には防衛省職員として活躍されることを中国四国防衛局員一同心より楽しみにしております。



令和6年度 中国四国防衛局永年勤続者表彰



令和6年11月1日の「中国四国防衛局永年勤続者表彰式」において、永年の勤務にわたる功績を称え、防衛大臣に代わり中国四国防衛局長から表彰状と記念品が授与され、日頃の感謝の気持ちを伝えるとともに、今後とも永年培われてきた豊富な知識と経験を活かし、任務に誇りをもって取り組むよう激励しました。



令和6年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式

米陸軍第10支援群弾薬廠



米海兵隊岩国航空基地



米陸軍第10支援群弾薬廠(呉市)及び米海兵隊岩国航空基地(岩国市)に勤務する在日米軍従業員に対し、10月17日及び11月6日に永年勤続者表彰式が開催され、勤続40年、30年、20年及び10年を迎えた150名(呉30名、岩国120名)の受賞者へ中国四国防衛局長、第10支援群弾薬廠司令官及び岩国航空基地司令官から表彰状と記念品が授与されました。

主催者の中国四国防衛局長、両司令官、来賓の方々から長年の貢献に対する感謝とお祝いの言葉が述べられ、呉及び岩国の受賞者の代表者からは「この意義ある式典を心の糧とし、長年にわたって培った知識や経験を活かし、これからも在日米軍施設の円滑な運営のため、従来にも増して職務の遂行に励み、日米両国の架け橋としての役割を果たしてまいります。」と謝辞が述べられました。

表彰式終了後は式典会場において記念撮影およびレセプションが執り行われ、終始和やかな雰囲気ですべて終了しました。



岩国基地における機種更新等について

令和6年7月15日、松本防衛大臣政務官（当時）、宮本外務省北米局参事官（当時）及び西方中国四国防衛局長（当時）等が山口県等を訪れ、山口県知事や岩国市長等に対して2つの更新プログラムについて説明しました。

- 空母ロナルド・レーガンのジョージ・ワシントンへの交代に併せた、艦載機部隊である「第5空母航空団の機種更新」
 - ・4つの戦闘攻撃飛行隊のうち1個飛行隊について、F/A-18スーパーホーネットの飛行隊からF-35Cの飛行隊に更新
 - ・C-2輸送機の飛行隊からCMV-22オスプレイの飛行隊に更新
- 全国プログラムである「在日米軍施設・区域における戦闘機に係る態勢の更新」
 - ・岩国基地常駐部隊のF-35Bを若干減少させつつ、ローテーション部隊のF/A-18をF-35Bに更新



岩国市議会全員協議会において説明

令和6年8月23日、三宅防衛大臣政務官（当時）、貝原外務省北米局参事官（当時）及び田實中国四国防衛局長等が岩国市議会の議員の皆様に対し説明しました。騒音への影響や配備されるオスプレイの安全性など様々なご質問がありましたので、誠心誠意回答いたしました。

防衛省としましては、岩国飛行場周辺の皆様が安心して安全に暮らせる環境を確保することは極めて重要であると認識しており、引き続き、地元の皆様に与える影響を最小限にとどめるよう米側に求めると共に、騒音対策等に万全を期してまいります。

令和6年11月17日、米海兵隊岩国航空基地に空母ジョージ・ワシントン艦載機が帰還しました。

午前8時20分頃からF/A18、F-35Cが次々と着陸し、その様子が報道公開されました。

また、駐機場では、CMV-22の地上展示があり、パイロットによる機体の説明も行われました。



空母ジョージ・ワシントン洋上視察

令和6年11月10日、田實中国四国防衛局長が福田岩国市長等と空母ジョージ・ワシントンの洋上視察に参加しました。

米海兵隊岩国航空基地からCMV-22オスプレイで移動し、空母到着後、第5空母打撃群関係者との面会及び滑走路上でF-35Cを視察しました。



（写真：米海兵隊提供）



輸送艦「にほんばれ」命名式・進水式

令和6年10月29日、広島県尾道市に所在する内海造船株式会社瀬戸田工場において、輸送艦「にほんばれ」の命名式・進水式がとり行われました。

本式典には、鬼木防衛副大臣（当時）、森下陸上幕僚長、齋藤海上幕僚長、小林中部方面総監、福田呉地方総監、大橋防衛装備庁装備官、田實中国四国防衛局長、内海造船取締役寺尾社長ほか関係者が出席しました。

女性自衛官による国歌独唱ののち、鬼木防衛副大臣（当時）が命名書を読み上げ、「にほんばれ」と命名されました。その後、鬼木防衛副大臣（当時）が斧で支綱（しこう）を切断すると中部方面音楽隊の「陽光を背に」の吹奏のもと、「にほんばれ」は船台から滑り降り、見事瀬戸内の海に進水を果たしました。

今後、艦装及び海上公試を経て、令和6年度末に海上自衛隊呉地区に新編予定の「自衛隊海上輸送群（仮称）」へ配備される予定です。



輸送艦「にほんばれ」



式典の様子



令和6年度防災応急対処訓練

令和6年11月5日の津波防災の日に際して、平成26年の中央防災会議にて「今後30年以内に70%の確率で発生する」とされている南海トラフ地震の発生を想定した、防災応急対処訓練を行いました。

中国四国防衛局は、大規模災害が発生した場合には、防衛省・自衛隊による災害対策に関する措置を円滑かつ効果的に実施するため、派遣支援本部を設置し、地方公共団体に設置される災害対策本部に連絡要員を派遣し、自治体、警察、消防などと情報を共有し、自衛隊の部隊等に対して支援を行います。

また、災害時に自衛隊の災害派遣・災害対応の拠点となる自衛隊施設が被災した場合には、技術系職員で編成される施設整備調査チームを派遣し、自衛隊施設の早期復旧に必要な技術支援を行います。



派遣支援本部に参集し、被害状況を報告する様子



被災した自衛隊施設に向かう施設整備調査チームの様子



建物の調査を行う施設整備調査チーム員の様子

実際に大規模災害が発生した際に起こりうる被害を想定することで、職員一人一人が緊急時の対応をイメージし、改めて、防災に対する意識が高まるものになりました。



設備の調査を行う
施設整備調査チーム員の様子



管内の施設の紹介(陸上自衛隊 高知駐屯地)

～高知駐屯地が、自衛隊施設としては初めて、施設からの温室効果ガス(Co2)排出ゼロを達成！～

陸上自衛隊高知駐屯地は中国四国防衛局調達部が建設に携わり、高知県香南市に平成22年3月に開設した比較的新しい駐屯地です。

敷地内には庁舎や車両整備工場、厚生施設、浴場、食堂、体育館等の施設がありますが、各施設の冷暖房や厨房、給湯システムなどの熱源については、従来、自衛隊施設では、ボイラーやガスを使用してきたところですが、同駐屯地では、これら全てを電気でまかなう、自衛隊施設としては初めての「オール電化」を採用した駐屯地となっています。

同駐屯地の電力契約は、省の方針に基づき、再生可能エネルギーにより発電された電力(再エネ電力)の調達に努めてきたところですが、今年度の契約においては、再エネ比率100%の電力の調達が実現しました。これにより、高知駐屯地は、オール電化に加え、施設から排出される温室効果ガス(Co2)の排出がゼロとなる「カーボンフリー」な自衛隊施設としては初めての「グリーンベース」となりました。

高知駐屯地は、我が国の安全保障や災害面だけでなく、温室効果ガスの排出削減にも貢献しています。



駐屯地全景



オール電化の冷暖房設備、給湯設備



オール電化の電気厨房



中国四国防衛局 高松防衛事務所のご紹介

高松防衛事務所は、JR高松駅より北側約100m先に所在する高松サンポート合同庁舎南館内にあり、香川県、徳島県、愛媛県、高知県を管轄しています。

主要な業務として、自衛隊の施設の取得・管理、防衛施設の設置・運用に伴って生じる障害の防止・軽減、自衛隊の行為による被害又は損害の補償、建設工事の実施等に係る連絡、交渉、調査及び資料の収集、並びに防衛政策全般についての地方公共団体及び地域住民の理解及び協力を確保するための連絡調整業務を行っています。

■主な防衛施設

香川県：善通寺駐屯地（善通寺市）、国分台演習場（高松市・坂出市）

徳島県：徳島駐屯地（阿南市）、徳島航空基地（松茂町）、小松島航空基地（小松島市）

愛媛県：松山駐屯地・小野演習場（松山市・東温市）

高知県：高知駐屯地・高知演習場（香南市）、土佐清水分屯基地（土佐清水市）

■四国の名所・名物



中国四国防衛局 職員日記（高松防衛事務所）



（高松防衛事務所 林 龍佑）

今年度4月に広島局から高松防衛事務所に異動となりました。高松防衛事務所では自治体との連絡調整や旅費算定等の庶務、防災訓練への参加など幅広い業務を行っています。

これまであまり経験したことのない業務のため、覚えることが多く大変ですが、何事も経験と考え前向きに取り組んでいるところです。

本事務所は四国全域が管轄ということもあり、出張機会が多くその際には、現地の名物である香川のうどんや徳島のラーメンなどを楽しんでいます。また、今までは自衛隊施設を訪れる機会があまりなかったのですが、善通寺駐屯地をはじめ各県の施設を訪れることもあり、新鮮な気持ちで毎日過ごしています。自衛隊施設で接する方々は、凜とした姿勢で業務を遂行しており、私も負けじと業務に励んでいきたいと思ひます。